

国内の第一線で活躍する技能者を対象とした国の表彰制度「現代の名工」で、本年度は本県から4人選ばれた。9日に都内で表彰式が開かれ、宮大工萩原侯員さん(57)＝高崎市、左官の中沢真澄さん

(65)＝東吾妻町、数値制御金属工作機械工の松井正志さん(47)＝同、ガラス成形工の高橋明さん(62)＝みなかみ町＝が表彰された。

左 官

中沢 真澄さん(65)

東吾妻町川戸



「塗り一塗りに魂を込める。繊細に美しく仕上げられた壁は建物の耐久性を高め、居住空間を快適にする。左官職人として半世紀。「常に勉強。」

芸術性 時間との戦い

同時に実家近くで左官業の見習いを始めた。親戚に大工がいて、「ものをつくる」職人への憧れも背中を押した。セメントやしっくい、石こうなど、さまざまに「まめに本気で仕事をした」と語る中沢さん

【略歴】 東吾妻町生まれ。旧吾妻町立岩島中卒。県左官工業協同組合副理事、同組合吾妻支部長。元県左官技能士会長。

宮大工

萩原 侯員さん(57)

高崎市箕郷町矢原



「建てたら終わりではない。100年、200年先の将来まで責任を持つのがこの仕事だ」。日本に古くから伝わる建築技術を生かし、寺の本

100年先まで責任持つ

図法「規矩術」を習得した。家業の工務店の2代目で、一般住宅も手掛けた。川崎市など遠方での仕事もある。趣味を兼ねて30年以上前から、年代物のかんなど、年代物ののこぎりをする萩原さん

【略歴】 高崎市生まれ。県建築業組合連合会常任理事技術部長、全国技能士会連合会マイスター、厚労省ものづくりマイスター。